『言語文化学』バックナンバー保管方法の変更（案）について

【従来の保管方法】

　言語文化学会の会則には『言語文化学』バックナンバー（配布・販売部数を除く残部、以下同じ）の保管に関する規定がなく、従来バックナンバーは全部数を助教室に保管してきた。

【新たな保管方法（案）】

　最新号から起算して過去五号までについては従来通りバックナンバーを全部数保管する。それ以前の号については、各五部を保管して、購入希望などに備える。

※提案の背景

・「言語文化学」がOUKAにリポジトリ登録され、これまでの掲載論文等をいつでも入手できるようになったこと。

・バックナンバーの購入希望は、例年１部～２部であり、リポジトリ登録によってさらに減少することが予想されること。

・保管場所である助教室の面積が改修により半減し、バックナンバー等を補完しているダンボール箱を室内で開封・整理することもおぼつかない状況であり、今後のことも考えるならばバックナンバーの保管部数を抑制する必要があること（言語文化専攻と学会とは別組織であり、恒久的な保管場所を他に確保することは難しい）。